

ミルクが濃くなった！リッチなミルクで幸せなひととき。
ファミマカフェの新「カフェラテ」10月17日（火）発売！
～しっかりとしたミルク感とスッキリとした後味が楽しめる～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、継続して取り組んでいる5つのキーワードの1つである「もっと美味しく」の一環として、カウンターコーヒーブランドとして展開するFAMIMA CAFÉの「カフェラテ」を刷新し、2023年10月17日（火）から沖縄県を除く全国のファミリーマート約16,200店にて発売いたします。



■ FAMIMA CAFÉ のカフェラテが濃厚ミルクでリニューアル！

このたび FAMIMA CAFÉ のカフェラテは、発売以来初の FAMIMA CAFÉ 専用ミルクを使用し、濃厚なミルクを感じることができる味わいに刷新いたしました。コーヒーにあわせてミルクの乳脂肪分や無脂乳固形分を高めることで、コーヒーの味わいに加え、しっかりとしたミルク感をお楽しみいただけます。また、国産生クリームなどこだわりのフレッシュな原料を使用し、濃厚ながらもスッキリした後味で、毎日飲みたくなる味わいに仕上げました。


■ 世界 No.1 バリスタ・粕谷哲氏との共同開発

世界 No.1 バリスタである粕谷哲氏との共同開発のもと、コーヒーに負けない、しっかりとしたミルクの味わいを感じることができる、理想のコーヒーとミルクのバランスを追求しました。

■ 粕谷哲氏からのコメント

理想のカフェラテを作るためにオリジナルでミルクを作るということになり、何度も何度も試作を重ねてようやくたどり着いたカフェラテです。ミルクとコーヒーの一体感はそのままに、ミルク感やミルクの甘さを理想的に引き出しています。まさか自分でミルクを一から作ることになるなんて夢にも思わなかったですが、リッチで本当に美味しいカフェラテを作ることができました。ぜひこれからの寒い季節に最高のミルクを使ったカフェラテをお楽しみください！

◆ 粕谷哲（かすや てつ）氏について

	<p>コーヒー業界に足を踏み入れてわずか3年で、独自のハンドドリップ理論「4:6 メソッド」により、「WORLD BREWERS CUP」で2016年にアジア人として初めて世界チャンピオンに輝く。優勝後は世界各国のバリスタのコーチを行っており、2018年には自身の教え子も同大会で優勝するなど、トップバリスタを育てるコーチとしても活躍中。</p> <p>「4:6 メソッド」：使うお湯の総湯量を40%と60%にわけて、それぞれで味と濃度の調整をする粕谷氏考案の画期的なハンドドリップの方法。従来のようなお湯を注ぐなどの“テクニック”による味の調整ではなく、注ぐお湯の量など“数字”で見える箇所での味の調整を可能にした革新的な手法。「誰でも簡単に美味しいコーヒーを淹れられる」というコンセプトから考案されました。</p>
---	---

【商品詳細】

	<p>【商品名】カフェラテ 【価格】M 167 円（税込 180 円） L 204 円（税込 220 円） 【発売日】10月17日（火） 【発売地域】全国 ※沖縄県は除きます。 【内容】コーヒーに負けない濃厚なミルクを使用し、ミルクの香り、コク、甘さを楽しめます。</p>
	<p>【商品名】アイスカフェラテ 【価格】M 195 円（税込 210 円） L 278 円（税込 300 円） 【発売日】10月17日（火） 【発売地域】全国 ※沖縄県は除きます。 【内容】コーヒーに負けない濃厚なミルクを使用し、ミルクの香り、コク、甘さを楽しめます。</p>

※画像はイメージです。

※軽減税率対象商品につき、税込価格は消費税8%にて表示しております。

※店舗によって取扱いのない場合がございます。

【キャンペーン情報】

■ファミマカフェのコーヒー・カフェラテ 1 品購入で、カフェラテ L・ブレンド L・アイスカフェラテ L・アイスコーヒー L30 円引きクーポンをプレゼント

対象のファミマカフェのコーヒー・カフェラテを購入すると、カフェラテ L・ブレンド L・アイスカフェラテ L・アイスコーヒー L が次回 30 円引きでご購入いただけるレシートクーポンがもらえます。

実施期間：2023 年 10 月 17 日（火）～2023 年 10 月 30 日（月）

引換期間：2023 年 10 月 17 日（火）～2023 年 11 月 6 日（月）

対象商品：ファミマカフェのコーヒー・カフェラテ

※店舗によっては、上記以外にも対象外商品がございます。

※沖縄県ではカフェラテの内容が異なります。

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上